

心に太陽を

“ひといになれる ひとつになれる” 『なかよし旬間』

今年度は5/21(金)に児童会行事『1年生を迎える会』を位置付けたため、例年より日数を増やし『なかよし旬間』を計画しました。5/12(水)の校長先生の講話では、絵本「しあわせのバケツ」を通して、相手を思いやり、親切にすることの大切さについて考え合いました。また、今年も姉妹学級で直接的な交流が行えなかったため、相手に思いを寄せ、お手紙を送る『なかよしゆうびん』にも取り組みました。学校だより『心に太陽を』第2号では、「なかよし旬間」の様子や森泉雄二校長先生のお話を紹介いたします。

校長講話 ～なかよし旬間によせて～ 『しあわせのバケツ』(テレビ放送)

今週から「なかよし旬間」です。言い換えると「みんながもっている『やさしさ』をもっと大切にしましょう」という2週間です。たくさんの友だちともっと仲良くなるにはどうしたらよいか、クラスみんなが気持ちよく生活できるようにするにはどうすればよいか、今日は、1冊の本を見てもらいながら、考えたいと思います。『しあわせのバケツ』(TOブックス)人は誰もが、「目には見えないバケツ」と一緒に生まれてきます。そんな、みんなのバケツのお話です。



『しあわせのバケツ』(TOブックス)

世界中の誰もが持っている、「しあわせのバケツ」。見えないけれど、みんなが持っている。なぜ、「しあわせのバケツ」を持っているのでしょうか？それは、みんなのよい心や、よい気持ちを入れておくため。バケツがいっぱいになると、とっても幸せな気持ちになれる。でも、バケツが空っぽになると、悲しく、そして寂しくなる。みんな、バケツを幸せでいっぱいになりたい。どうすれば、バケツをいっぱいにするのでしょうか。誰かに、好きな気持ちを伝えたり、親切にしてあげたり、ほほえみかけたりしたときに、「しあわせなバケツ」はいっぱいになる。これが、バケツを幸せでいっぱいにする方法。あなたが誰かのバケツを幸せでいっぱいにすると、自分のバケツもいっぱいになるんだよ！人を幸せにすると、自分も幸せになれるんだよ。「しあわせのバケツ」をいっぱいにするのは、楽しくて、とても簡単なこと。大人も子どもも関係なくて、お金も時間もいらぬ。…そして、誰かのバケツを幸せでいっぱいにすると、自分のバケツもいっぱいになることを忘れないでください。みんながバケツを幸せでいっぱいにしていけば、あなたの家も、あなたのクラスも、あなたの学校も、あなたの町も、みんな楽しい場所になります。バケツをいっぱいにすると、あなただけじゃなくて、みんなが幸せになれるんだよ。 ※本文要約

お話はここまでです。校長先生の「しあわせのバケツ」は、今いっぱいになってきているように思います。今朝も、大勢の皆さんから「おはようございます」と元気に声を掛けてもらいました。1年生教室前の南庭で1年生と6年生が仲よく遊ぶ姿を見たり、教室や校庭でクラスの男の子と女の子が一緒に仲良く遊ぶ様子をたくさん見たりして、とても幸せな気持ちになりました。掃除の時間に一人になって一生懸命床を磨く友だちを見て、また幸せな気持ちになっています。皆さんの「しあわせのバケツ」はどうですか。隣にいる友だち、クラスの友だち、担任の先生の「しあわせのバケツ」はいっぱいになっているのでしょうか。今年の児童会のテーマは「スマイル」です。自分と友だちと先生の「しあわせのバケツ」をいっぱいにして、笑顔あふれる岩村田小学校をつくっていきましょう。

☆学年通信の紹介☆



ペア読書の様子(1&6年生)

がさくのか、たのしみにしていてね♪

とても嬉しそうでした。来年になると、

今度は自分たちの種を1年生にプレゼントをするようになるのかな。

「ペア読書ありがとう」(1学年通信より)

朝の活動に、ペア読書を行いました。6年生が教室に来て、絵本の読み聞かせをしてくれました。なかよしペアの1年生が楽しめそうな絵本を用意してくれたので、とても楽しかったようです。また、なかよし旬間の活動の一つとして「スマイルゆうびん」という取組があり、6年生から自己紹介カードをプレゼントしてもらいました。いつも優しくしてくれる6年生に会うことができ、嬉しかったようです。また、2年生からは、昨年育てたあさがお



から採れた種をプレゼントしてもらいました。袋には「どんないろのはな」といった素敵なメッセージや、かわいい絵が描いてありました。1年生は

『1年生へプレゼントを作ろう』(3学年通信より)

1年生を迎える会に向けて、その準備として姉妹学年の5年生と一緒に1年生に送るプレゼントを作りました。学校で楽しく遊んでもらえるように「ぶんぶんごま」と「紙コップけん玉」です。この2つは、今の3年生が1年生の時に、3年生だった現在の5年生がプレゼントしてくれました。はじめはなかなか上手に回せなかった子どもたちも、だんだんコツをつかむと本当に「ぶんぶん」鳴らして楽しそうに遊んでいたことを思い出しました。今回プレゼントする1年生にも楽しく遊んでもらえるとよいですね。

また、1年生へのプレゼント作りの後には3年生のぶんぶんごまも一緒に作ってもらうことができ、大喜びの3年生でした。

なかよし週間にふさわしい心温まる交流ができた一時でした。



5年生とぶんぶんごまを作ったよ！

『岩小コミュニティスクール推進・運営委員』の紹介

昨年度は新型コロナウイルス感染予防のため、運営委員会が開催できませんでしたが、年度末の3月23日に推進委員の皆様にお集まりいただき、令和2年度の学校運営を振り返る場を設けました。コロナ禍にあっても“すべては子どもたちの笑顔のために”と取り組んできた成果と課題を明らかにしました。今年度も運営委員や地域の皆様、PTAにお力添えをいただきながら、150周年に向けて準備をしていきたいと思っております。

【運営委員会】

【推進委員会】*運営委員も兼ねます

委員長 依田 豊 様(元岩村田小学校長)
副委員長 細川 保英 様(岩村田商工会理事)
越石 雅雪 様(コシミ商会代表取締役)
秋山 元治 様(元上の城区長)
鷹野 禮子 様(小雀保育園理事長)
臼田 一海 様(民生児童委員)

佐々木康夫 様(上ノ城区長)
森角 武夫 様(荒宿見守り隊)
小林 健男 様(稲荷町見守り隊)
森角 信雄 様(相生町見守り隊)
茂木 孝 様(一本柳見守り隊)
小林 一夫 様(猿久保見守り隊)
河野 亘 様(猿久保東見守り隊)
阿部 博隆 様(おやじの会代表)
※前PTA会長

<昨年度末の推進委員会で話題になったこと>

- 新型コロナウイルス感染予防策を講じて計画された異年齢によるユニット運動会が素晴らしかった。児童と先生方が知恵を出し合い、今年だから経験できた運動会だった。デジタル教科書やICT機器の有効活用、地域素材の教材化については、今後も力を入れて欲しい。特に、地域の教育資源については積極的に活用して欲しい。
- 人と人が直接手と手をふれ合い、心を動かすことを大切にしたい。学校が休校になってしまったからこそ、気づけたこともある。新型コロナウイルス感染症が収束したら、子どもたち同士、地域とのコミュニケーションをどのように再開するかを考えていただきたい。
- 自殺をする子どもたちが急増している今年度。まずは学校・家庭・地域が連携して、子どもたちの「安全」が守られたことが良かった。子どもたちが「学校へ行きたい」「友だちに会いたい」と思えたり、親が我が子と向き合えたりした、意味のある一年であったと思う。

【6月22日(火) 音楽会Ⅱの日程】

8:40~ 8:52 5年生
8:52~ 9:00 入替
9:00~ 9:12 1年生
9:12~ 9:20 入替
9:20~ 9:32 3年生
9:32~ 9:40 入替
9:40~ 9:52 4年生
9:52~ 10:00 入替
10:00~ 10:12 2年生
10:12~ 10:20 入替
10:20~ 10:32 6年生
10:32 終了

今後の主な予定

<6月>

9日(水) 集団下校訓練
18日(金) 校内音楽会Ⅰ(児童のみ)
22日(火) 校内音楽会Ⅱ(保護者参観)
23日(水) プール開き
25日(金) 低学年 読み聞かせ
29日(火)~30日(水) 5学年 キャンプ

<7月>

1日(木) 5学年 計画休業
2日(金) 参観日(低学年)
5日(月) 支部子ども会②(2校時)
7日(水) 4学年 社会見学
8日(木) 6学年 社会見学
9日(金) 参観日(高学年)
16日(金) 高学年 読み聞かせ
21日(水) 1学期終業式
22日(木) 夏休み(7/22~8/17)



保護者参観の日程

※6/7(月)に家庭数で音楽会プログラムを配布いたしました。

ご来校をお待ちしています♪